



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 沢井製薬株式会社

コード番号 4555 URL <http://www.sawai.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 澤井 光郎

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理部長 (氏名) 末吉 一彦

TEL 06-6105-5711

四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	21,906	11.3	5,831	42.1	5,873	37.4	3,770	39.5
25年3月期第1四半期	19,684	24.0	4,103	21.3	4,273	21.3	2,701	20.7

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 3,831百万円 (25.3%) 25年3月期第1四半期 3,059百万円 (5.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	248.79	203.90
25年3月期第1四半期	170.98	140.94

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	130,156	63,843	49.0
25年3月期	127,842	61,479	48.0

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 63,793百万円 25年3月期 61,424百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	70.00	—	100.00	170.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	90.00	—	90.00	180.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	41,000	6.6	8,200	2.0	8,200	△0.1	5,500	0.5	362.93
通期	87,000	8.1	18,000	3.5	18,000	2.3	11,600	△3.5	765.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	15,861,100 株	25年3月期	15,856,900 株
26年3月期1Q	703,212 株	25年3月期	706,412 株
26年3月期1Q	15,154,287 株	25年3月期1Q	15,801,920 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、平成25年8月8日に機関投資家及びアナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定です。その模様及び説明内容については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日～平成25年6月30日)におけるわが国経済は、「デフレからの脱却」と「日本経済再生」に向け、安倍政権が、①大胆な金融政策、②機動的な財政政策、③民間投資を喚起する成長戦略、という3つの政策を打ち出した結果、民間の消費・投資マインドが好転し、景気は徐々に持ち直す動きが見られました。ただし、景気の回復を先取りして平成24年11月以降上昇が続いていた株価は、市場の調整に加え、米国の金融緩和が縮小するとの見方や、中国の経済成長鈍化、円為替相場の下げ止まり等の影響を受け、大きく乱高下しました。

ジェネリック医薬品業界におきましては、平成25年4月に厚生労働省から「後発医薬品のさらなる使用促進のためのロードマップ」が公表され、「ジェネリック医薬品の数量シェアを平成30年3月末までに60%以上にする」という目標とともに、「ジェネリック医薬品のさらなる使用促進のための取組みについてモニタリングを行い、必要な促進策を適宜追加する」ことが明記され、引き続きジェネリック医薬品の使用促進が力強く推し進められることが明確となりました。しかしながら、その一方で、上記ロードマップにおいて、ジェネリック医薬品メーカーに対して、「安定供給」、「品質に対する信頼性の確保」、「情報提供の方策」への取組み強化が求められました。特に、「安定供給」に関しては、原薬メーカーへの査察強化や原薬の複数ソース化等を通じた安定調達が求められております。また、世界的な査察の基準になりつつあるPIC/Sへの早急な対応も求められてきています。

このような状況において、当社グループは、ジェネリック医薬品業界のリーディングカンパニーとして、経営環境の変化に一早く対応するため、2年目を迎えた中期経営計画「M1 TRUST 2015」の基本方針に沿って、各部門が積極的に取り組みました。6月に5成分9品目の新製品を上市しましたが、発売直後から積極的な販促活動に努めた結果、順調な出足となりました。とりわけ、代謝拮抗剤(抗がん剤)「エスエーワン配合カプセル」と抗血小板剤「シロスタゾールOD錠」は、製造販売承認を持つメーカーが各々他に1社しか無い競合の少ない製品であり、当社の開発力の高さを市場に大いにアピールすることができました。3月に稼働を開始した関東工場の新製剤工場については、順次他工場からの製品移管を受け、稼働率を向上させるとともに、将来のジェネリック医薬品の需要拡大を見越して、計画の1年前倒しを行い、今期中に第2期工事に着手することとしました。これにより、当社全体で年間100億錠の生産体制を早期に構築できることとなります。また、卸・販売会社との連携を一層強化することで、保険薬局市場における販売拡大のみならず、前期に伸び悩んだ病院市場の深耕にも努めました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は21,906百万円(前年同期比11.3%増)、営業利益が5,831百万円(前年同期比42.1%増)、経常利益が5,873百万円(前年同期比37.4%増)、四半期純利益が3,770百万円(前年同期比39.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は80,583百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,147百万円増加いたしました。これは主に、たな卸資産が2,153百万円、受取手形及び売掛金が1,399百万円増加したことと、現金及び預金が1,670百万円減少したことによるものであります。固定資産は49,573百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,166百万円増加いたしました。これは主に、投資その他の資産が1,121百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、130,156百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,313百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は30,485百万円となり、前連結会計年度末に比べ379百万円増加いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が1,630百万円、短期借入金が1,385百万円増加したことと、未払法人税等が1,656百万円、賞与引当金が764百万円減少したことによるものであります。固定負債は35,827百万円となり、前連結会計年度末に比べ430百万円減少いたしました。

この結果、負債合計は、66,312百万円となり、前連結会計年度末に比べ50百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は63,843百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,364百万円増加いたしました。これは主に、四半期純利益の計上3,770百万円、剰余金の配当1,515百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は49.0%（前連結会計年度末は48.0%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の業績予想につきましては、平成25年5月14日に公表したとおり、売上高87,000百万円（前期比8.1%増）、営業利益18,000百万円（前期比3.5%増）、経常利益18,000百万円（前期比2.3%増）、当期純利益11,600百万円（前期比3.5%減）から変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、ケーエム合同会社につきましては、重要性がなくなったことに伴い、当第1四半期連結会計期間から連結子会社から除外し、非連結子会社としております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,583	18,913
受取手形及び売掛金	26,593	27,993
商品及び製品	15,129	15,460
仕掛品	6,997	8,167
原材料及び貯蔵品	7,402	8,054
繰延税金資産	1,675	1,148
その他	1,066	857
貸倒引当金	△12	△13
流動資産合計	79,435	80,583
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	22,806	22,511
機械装置及び運搬具(純額)	12,954	12,422
土地	6,302	6,340
リース資産(純額)	75	70
建設仮勘定	59	963
その他(純額)	1,903	1,942
有形固定資産合計	44,102	44,250
無形固定資産		
投資その他の資産	1,956	1,853
投資有価証券	1,997	3,094
長期前払費用	31	32
繰延税金資産	27	40
その他	316	327
貸倒引当金	△25	△25
投資その他の資産合計	2,348	3,469
固定資産合計	48,407	49,573
資産合計	127,842	130,156

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,941	13,571
短期借入金	2,451	3,836
リース債務	18	18
未払金	9,582	9,087
未払法人税等	3,266	1,610
賞与引当金	1,303	539
役員賞与引当金	82	28
返品調整引当金	63	66
売上割戻引当金	723	799
その他	670	926
流動負債合計	30,105	30,485
固定負債		
新株予約権付社債	30,362	30,325
長期借入金	3,503	3,096
リース債務	62	57
繰延税金負債	75	75
退職給付引当金	89	80
役員退職慰労引当金	587	—
長期預り金	1,576	1,639
その他	—	553
固定負債合計	36,257	35,827
負債合計	66,363	66,312
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,959	11,971
資本剰余金	12,293	12,316
利益剰余金	43,308	45,554
自己株式	△6,471	△6,445
株主資本合計	61,089	63,397
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	334	396
その他の包括利益累計額合計	334	396
新株予約権	45	40
少数株主持分	9	9
純資産合計	61,479	63,843
負債純資産合計	127,842	130,156

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	19,684	21,906
売上原価	10,670	11,064
売上総利益	9,014	10,841
販売費及び一般管理費	4,911	5,009
営業利益	4,103	5,831
営業外収益		
受取利息	38	37
受取配当金	143	28
その他	35	34
営業外収益合計	217	100
営業外費用		
支払利息	33	25
損害賠償金	0	21
売上債権売却損	9	10
その他	3	1
営業外費用合計	47	59
経常利益	4,273	5,873
特別損失		
固定資産除却損	76	7
特別損失合計	76	7
税金等調整前四半期純利益	4,196	5,865
法人税、住民税及び事業税	830	1,615
法人税等調整額	664	479
法人税等合計	1,494	2,095
少数株主損益調整前四半期純利益	2,701	3,770
少数株主利益又は少数株主損失(△)	0	△0
四半期純利益	2,701	3,770

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,701	3,770
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	357	61
その他の包括利益合計	357	61
四半期包括利益	3,059	3,831
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,059	3,831
少数株主に係る四半期包括利益	0	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。